



環境学習センター「アスエコ」  
(公財) 岡山県環境保全事業団

# 大切さを「知ろう」 守るために「行動しよう」 つながる「仲間を増やそう」

環境学習センター『アスエコ』  
(公財) 岡山県環境保全事業団

訪問者：環境カウンセラー 友田 加世<sup>ともだ かよ</sup>

## ■ 恐竜が迎えてくれた

岡山の環境学習センター『アスエコ』を訪問した。

岡山駅から市役所方向に徒歩10分。大通りに面したビル一階に『アスエコ』はある。これほどの好立地にある環境啓発施設は全国でも珍しい。ガラス張りで見えやすい。入口を入ると、正面の受付の女性スタッフが、「こんにちは」とすぐに声をかけてくれ、構えていた気持ちがほぐれる。館内右手を見ると、何とティラノサウルスがいる。訪問した日は、肉食恐竜展が開催されていた。恐竜好きの子どもとお母さんが、スタッフと一緒に恐竜のぬり絵をしたりDVDを見たりしている。環境活動のために来た様子ではないので、きっと恐竜が目的で来たのだろう。スタッフは恐竜のDVDと一緒に見ながら、テレビリモコンの操作方法を説明している。そっと聞いてみると、画像設定を省エネモードに変える方法を、実際のリモコンを使って手ほどきしている。その親



『アスエコ』外観

子の家のテレビのメーカーを聞いて、そのメーカーのリモコンだと、こういうボタンを押すと設定できるよと、自然な流れでエコ情報を伝えていた。お母さんも納得顔。でも、「こうしたら省エネ設定にできるよ」と具体的に紹介しているだけで、「こうしないといけないよ」とは言わない。これが『アスエコ』流らしい。

## ■ コンセプトと事業内容

アスエコの顔！である所長の中平徹也さんからお話を伺った。

産廃処分などを中心事業とする(公財)岡山県環境保全事業団が、県民に利益を還元するため、2007年6月に環境学習センター『アスエコ』をオープンした。より多くの人に環境の大切さを知ってもらいたいと、駅前の便利な場所を選んだそう。

現在では、「環境学習の拠点」「温暖化防止活動推進センター」「地域の中核支援施設」の3つの機能を持っている。

基本コンセプトは、「知ってもらう」「行動に移してもらう」「仲間を増やしてもらう」。まず、身近な自然や地球上で起こっていることを、知らない人に知ってもら



所長の中平さん

う。知っている人には、自分のことだと思って行動してもらうために、行動の手助けをする。そして、さらに仲間を増やす手助けをする。

主な事業は、以下のとおりである。

- ・施設見学や体験
- ・環境情報の展示
- ・イベントの実施
- ・図書・機材の貸し出し
- ・アースキーパー
- ・講師の派遣
- ・相談窓口
- ・セミナー・勉強会

詳しい内容はホームページへ。[\(http://blog.canpan.info/asueco\\_blog/\)](http://blog.canpan.info/asueco_blog/)

### ■「かんきょうひろば」

「かんきょうひろば」とは、岡山県が、持続可能な社会の実現に向けて、行政や環境NPO等のさまざまな主体による協働の場として設置した「環境学習協働推進広場」のことで、環境学習出前講座、参加団体・指導者間の交流、環境学習指導者の登録や育成講座、環境学習器材の貸し出し（移動環境学習車など）、行政への事業提案や共同事業を行なっている。事務局をアスエコが担当している。

特筆すべきは、行政への事業提案である。参加団体が話し合って県に企画案を提出し、県はその案に対してきちんと回答する。その回答を受けて、採用された事業を参加団体が責任を持って実施するところだ。「かんきょうひろば」で実施している環境学習は、年間で250回にもものぼる。行政に対して意見を言うだけでなく、予算がつけばそれを実施できる企画力、行動力を持っている。

それぞれ主義主張が違う団体でも、一緒にできることはある。一つのグループでは



環境講座の様子

できないことも、一緒にやれば実現できることもある。他の団体のやっていることや考えていることがわかり、みんなが集まれば幅広いアイデアや知恵が出て、可能性が大きく広がる。情報共有や勉強する機会ともなっている。多くの都市で、こうした取り組みを模索しているが、意見の言いっぱなし、聞きっぱなしで終わることが多い。アスエコ事務局の、調整力の賜物でもあるのだろうと感じた。

### ■ 訪問を終えて

アスエコ事務局は、環境に関する悩みがあれば、何とかしたいと親身になって相談にのってくれる。地域の『環境駆け込み寺』的な存在となっている。

中平さんに、アスエコの活動で最も感動したことは？と尋ねると、参加した子ども達の笑顔だそうだ。「おじちゃん、ありがとう。また来るね」の声を聞くと、すべての苦勞が報われるとのこと。また、中平さんの「自分たちは、子ども達にエコの種を撒くだけ。その種がどんな花や実につくかわからないが、これから心を入れて種を撒き続ける」との言葉が印象的だった。将来、アスエコの種がどんな花や実をつけるか、とても楽しみだ。